

2011年度第二地連ソフトボール大会 (6月9日～7月7日、足立区平野グランド)

交流と横のつながり

文京 昨年に続き見事優勝果たす



大会実行委員長 東海林一久(第二地連事務局次長)

試合終了後、互いの健闘を讃え合う北・荒川チーム。今大会を象徴する和やかな光景

第二地連新聞

発行	責任
第二地連	議長
編集	責任
第二地連	教宣部
東京	清
労働	組
第二	地
第	連

2011年7月20日
第17号

今年も地連のソフトボール大会が開催されました。事前に実行委員会を開催し、ルール確認や開催日程等を話し合い大会に向け準備を進めてきました。今年も第二地連初の試みであるバーベキュー大会を予定しています。そのためソフトボール大会の予算を削っての開催となり、昨年のリーグ戦からトーナメント戦



大会閉会式で挨拶する東海林実行委員長(左は金子議長)

への変更となりました。年々厳しくなる作業実態の中で、1時間休を取ってグラウンドに集まるのが厳しくなってきたのも事実です。その中で、今年も第二地連4支部による戦いが繰り広げられました。

毎年のことながら、この時期は雨が多く、雨天順延ということが多々あります。今年も大会初日

が雨で延期となりました。1回戦は6月9日(木)に開催し、昨年度優勝の文京支部と北支部が決勝戦に進みました。グラウンドに集まる第二地連の仲間が支部を超えて他支部の仲間と話し合う光景が印象に残り、「交流と横のつながり」を強く感じました。

大会二日目、決勝戦が7月7日(木)に開催され、白熱した試合が展開されました。各支部のベンチを覗いてみると、どの支部も若い仲間が中心になって大きな声を出して応援している姿が多々みられました。

結果は文京支部が北支部を破り、昨年の大会に続き見事優勝を果たしました。結果は以下の通りです。

- 1位 文京支部
- 2位 北支部
- 3位 荒川支部
- 4位 台東支部

第二地連ソフトボール大会

6月1日～6月17日 足立区・平野グランド

文京優勝!

2011年6月9日(木)～7月7日(木)、数度の雨天中止・延期を経て、足立区・平野グランドにおいて、第二地連内4チームによるトーナメント戦形式の「2011年第二地連ソフトボール大会」が行われた。

第一戦を勝ち上がった北チームと、第一戦に不戦勝した文京チームが7月7日、決勝戦を行った。双方ともホームランを飛ばす乱打戦の末、13対9で文京チームが勝利し、昨年続く優勝、大会2連覇を達成した。



第二地連ソフトボール大会2連覇達成に、笑顔も爽やかな文京チームの面々

「負けた時の言い訳」オーダーも

「4番投手渡邊」で完投

大会当日の朝のことです。監督である野口さん

と、「ピッチャーやりますよ」と冗談交じりの会

話をして笑っていましたが（本場にそうなることは）。

平野グラウンドに着き、監督からのオーダー発表、なんと、「4番ピッチャー渡邊」と告げられました。

大会後の慰労会の席で野口さんから聞いた話ですが、負けた時の言い訳に洒落で作ったオーダーだったらしいのです。

しかし監督の予想に反し、意外や意外の試合運び、味方の援護では初回に打者一巡の8点、守備ではセンター（清水さん）、サード（森田さん）、ショート（星さん）の強力な守りもあり、完投してしまいました。

試合は楽しさの中に真剣さもあり、また緊張もありました。

特に13対7で迎えた最終回、2点を返され13対

9、2アウト満塁ボールからの3球目だったと

【文京支部・渡邊一彦】



思います。レフトに力強い打球が飛びました。レフトを守るのは、4回までバッテリーを組んでいた「組長」（佐藤国明のあだ名）です。深めの守備が功を奏し、ほぼ正面、しかし打球は非常に強く伸びています。抜ければサヨナラ、皆の頭の中に2年前の文京の悪夢が過ぎりました。しかし、「組長」の気合が勝ち、ボールはグロープの中に吸い込まれ試合終了。皆の力で勝利することができて嬉しく思います。

そして、非常に楽しく充実した時間を北支部の皆さんと共有できたこと、雨のため2回もの順延でグラウンドの予約などの調整をして頂いた地連役員に感謝いたします。ありがとうございます。

PS

大会から2日後この記事を書いています、やっつと筋肉痛が出てきました。歳を感じます。

4番で投手として完投し、文京優勝の原動力となった渡邊投手

勝敗拘らずいい汗

北支部・内田達也

1日目、雨で順延となり翌週からの開催になりました。1チームが棄権し我々のチームも何とか人を集めギリギリの人数で挑みました。勝敗にこだわらずいい汗をかくことができました。終わった後のお酒は美味でした。



1年ぶりに握ったボールとバットの感触は、眠っていた自分のソフトボール魂に火をつけました。第1戦目に行けなかったこともあり、この1戦に持てる力を全て出す意気込みで臨みました。結果空回りしてしまいノーヒットでチームも9対13と負けてしまいました。一試合しか参加できませんでしたが、楽しかったです。来年も参加したいです。

ソフトボール魂に火

北支部・野口貴史



試合中笑っぱなし

「ルール分かっていません」



男の子なら小さい頃、一度は野球のグローブを買ってお父さんとキャッチボールをしたことがあると思います。
王貞治の756号ホームランをリアルタイムで経験しているにも関わら

ず、残念ながら私は小さい頃から野球に全く興味を示さない子どもでして、この歳になるまでそれは変わりませんでした。野球のルールもいまいちよく分かりません。私は守備は全くできないので、ピッチャーにして打たせて捕る作戦にしてみたいです。
後半、私が交代してピッチャーになると、まるでバスケの試合みたいに点数を入れられてしま



ました。
打順が回り、ほぼ初めてバットを握った私が奇跡的にヒットを打ちました。せっかく二塁まで進んだのですが、全力疾走で二塁ベースを通り過ぎると、セカンドの方が笑いながら私にタッチしました。すみません、ルール、よく分かっていませんでした。
参加者がいないのとこので、人数あわせで急遽参加させていただきましたが、もう、世の中にこんなに楽しいスポーツがあったのか！、と試合

中、ずっと笑っぱなしでした！

帰宅後、家族には「お父さんは今日、ソフトボールの試合でピッチャーをやってヒットを打ったんだよ!」、と100倍くらいに膨らませて活躍を話しました。

バットを振ったせいで、肩甲骨の内側がしばらく筋肉痛になりました。

また試合があったら、迷惑でしょうが、是非参加させていたいただきたいです!

【荒川支部・田崎明】

第1回戦 6月9日(木) 北 対 荒川

チーム	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
北	1	0	2	2	4	2	3	14
荒川	0	0	0	0	0	4	0	4

【荒川：山崎明、田崎明投手】 【北：内田達也、阿部伸二投手】

第1回戦
6月9日(木)
文京 不戦勝 台東

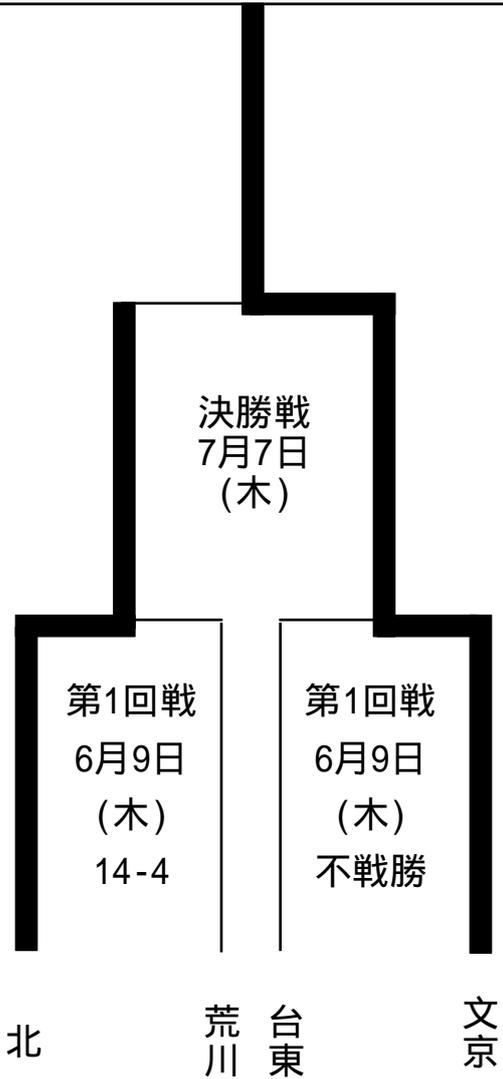
決勝戦 7月7日(木) 文京 対 北

チーム	1回	2回	3回	4回	5回	6回	計
文京	8	0	0	5	0	0	13
北	3	4	0	0	0	2	9

【北：福岡啓治、阿部伸二投手】 【文京：渡邊一彦投手】

3位決定戦
7月7日(木)
荒川 不戦勝 台東

優勝！文京チーム



大会総合順位

順位	チーム
優勝	文京
準優勝	北
3位	荒川
4位	台東